

※上記調査位置の内、No. 3～6を参考資料として添付する。

## ボーリング柱状図

調 査 名 道の駅グランテラス筑西拡張整備基本・実施設計等業務委託

ボーリングNo	3								
---------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シート No 3

ボーリング名	Bor. 3		調査位置		茨城県筑西市川澄地内						北緯	36° 19' 23.50"					
発注機関	筑西市				調査期間		令和 6年 3月 21日 ~ 6年 3月 26日				東経	139° 59' 32.07"					
調査業者名	株式会社 三橋設計 電話 (03-3294-0851)		主任技師		小田嶋 亮		現代場人		柿島一敏		コ鑑 定 者		江川秀男		ボーリング責任者	古川三千雄	
孔口標高	TP +34.74m	<div>角</div> <div><div>180°</div><div>上</div><div>90°</div><div>下</div><div>0°</div></div> <div>度</div>	<div>方</div> <div><div>北 0°</div><div>270°</div><div>西</div><div>90°</div><div>東</div><div>180°</div><div>南</div></div> <div>向</div>	<div>地盤勾配</div> <div><div>鉛直</div><div>水平 0°</div><div>90°</div><div>0°</div></div>	<div>使用機種</div>	試錐機				カノー D0				ハンマー落下用具		自動落下(野帳記録)	
総掘進長	15.45m					エンジン				ヤンマー NFD9				ポンプ		カノー BG4	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験					原位試験		試験採取			掘進 月日		
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃回数／貫入量 (cm)	深 度 (m)	試験名 および結果	深 度 (m)	試験 番号	採取 方法		室内試験 ( )	
												0 ～ 10	10 ～ 20	20 ～ 30									
	34.24	0.50	0.50		表土	黒褐			GL-0.2mまで耕作土。以深はφ200mmの玉石を混入する粘性土。	3/21 0.90	1.15	5	4	5	14 30	14							3/21
1	33.84	0.40	0.90		砂混じり粘土	褐			全体に少量の細砂を混入する。		1.45												
2										2.15	15	14	12	41 30	41								
3					玉石混じり砂礫	暗灰	中位	非常に密な	φ2～50mmの円礫、垂円礫が主体となる。 礫間は砂が充填する。 最大礫径はφ200mm程度。 所々で5～10cmの層厚で砂層を挟む。 水気は中位～多い。	2.45													
4						暗褐灰				3.15	15	12	16	43 30	43								
5										3.45													
6										4.15	14	16	20	50 30	50								
7	28.14	5.70	6.60		シルト混じり砂	暗褐灰	中ぐらい	密な	細砂～中砂を主体とし、粗砂、及び小礫も少量混入する。 全体に不均質にシルト分を混入する。 水気は中位。	4.45													
8										5.15	12	16	22 8	50 28	54								
9					粘土質シルト	暗青灰	硬い		不均質な粘性土からなる。 粘り気は中位～強い。	5.43													
10										6.15	28	22 7		50 17	88								
11	23.84	2.10	10.90							6.32													
12					砂礫	青灰	密な	非常に密な	φ5～30mmの垂円礫を主体とする。 礫間は細砂～中砂が充填する。 最大礫径はφ80mm程度。 GL-12～13(m)掘進中に、削孔水が10～30%程度逸水する。 GL-14m以深では不規則にシルト分を少量混入する。 水気は中位。	7.15	12	15	15	42 30	42								
13										7.45													
14										8.15	5	5	7	17 30	17								
15	19.29	4.55	15.45							8.45													
										9.15	3	3	4	10 30	10								
										9.45													
										10.15	3	4	5	12 30	12								
										10.45													
										11.15	9	20	21 5	50 25	60								
										11.40													
										12.15	23	20	7 5	50 25	60								
										12.40													
										13.15	22	23	5 3	50 23	65								
										13.38													
										14.15	12	15	19	46 30	46								
										14.45													
										15.15	16	18	14	48 30	48								
										15.45													

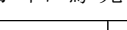
## ボーリング柱状図

調 査 名 道の駅グランテラス筑西拡張整備基本・実施設計等業務委託

ボーリングNo	4								
---------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シート No 4

ボーリング名	Bor. 4			調査位置		茨城県筑西市川澄地内					北緯		36° 19' 24.76"						
発注機関	筑西市					調査期間		令和 6 年 3 月 19 日 ~ 6 年 3 月 28 日					東経		139° 59' 33.65"				
調査業者名	株式会社 三橋設計 電話 (03-3294-0851)			主任技師		小田嶋亮		現代理人		柿島一敏		コ鑑定者		江川秀男		ボーリング責任者		横島慎一	
孔口標高	TP +34.77m	角 	方 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 向	地盤勾配 	使用機種	試錐機		カノー D0				ハンマー 落下用具		自動落下 (野帳記録)					
総掘進長	43.30m					度	0°	0°	エンジン		ヤンマー NFD9				ポンプ		カノー BG4		

[illegible]

### 参考資料4.3-1

Figure 1: A detailed geological profile of a borehole. The vertical axis on the left shows depth in meters (25 to 43). The horizontal axis at the top shows three parameters: 10.07, 0.40, and 24.70. The profile is divided into two main sections. The upper section (25 to 33.70m) is labeled '砂質シルト' (Silty sand) and '暗灰' (Dark gray). The lower section (33.70 to 43.30m) is labeled '砂質シルト' (Silty sand) and '緑灰' (Greenish gray). The profile shows a transition from silty sand to a more homogeneous silty sand with some shell fragments (GL-32.4m) and a transition to a silty sand with a high content of fine sand (GL-32m). The lower section is characterized by a high content of fine sand (GL-32m) and a high content of shell fragments (GL-37.7m). The profile is accompanied by a table of data points and a graph of the profile.

Depth (m)	10.07	0.40	24.70	Soil Type	Color	Notes
25				砂質シルト	暗灰	中位～硬い 概ね均質なシルトからなる。GL-32m付近より以深では、所々に微量の砂分を混入する。GL-32.4m付近に、微量の貝殻片が混入する。粘り気は中位だが、上部ではやや強い。
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
33.70	1.07	9.00	33.70	砂質シルト	緑灰	非常に硬い 全体に砂分を多く混入する。φ2～10mmの礫が点在する。粘り気は中位。
34	0.42	0.65	34.35			
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43	-8.53	8.95	43.30			

Figure 2: A detailed geological profile of a borehole. The vertical axis on the left shows depth in meters (24.45 to 43.30). The horizontal axis at the top shows three parameters: 2, 2, 3, 7/30, 7. The profile is divided into two main sections. The upper section (24.45 to 33.15m) is labeled '砂質シルト' (Silty sand) and '暗灰' (Dark gray). The lower section (33.15 to 43.30m) is labeled '砂質シルト' (Silty sand) and '緑灰' (Greenish gray). The profile shows a transition from silty sand to a more homogeneous silty sand with some shell fragments (GL-32.4m) and a transition to a silty sand with a high content of fine sand (GL-32m). The lower section is characterized by a high content of fine sand (GL-32m) and a high content of shell fragments (GL-37.7m). The profile is accompanied by a table of data points and a graph of the profile.

Depth (m)	2	2	3	7/30	7
24.45					
25.15	2	2	3	7/30	7
25.45					
26.15	2	3	3	8/30	8
26.45					
27.15	2	3	2	7/30	7
27.45					
28.15	2	3	3	8/30	8
28.45					
29.15	2	2	3	7/30	7
29.45					
30.15	2	3/12	3	8/32	8
30.47					
31.15	2	2	3	7/30	7
31.45					
32.15	2	3	4	9/30	9
32.45					
33.15	2	2	2	6/30	6
33.45					
34.15	6	7	11	24/30	24
34.45					
35.15	7	11	20	38/30	38
35.45					
36.15	14	13	17	44/30	44
36.45					
37.15	14	15	14	43/30	43
37.45					
38.15	30	20/5		50/15	100
38.30					
39.15	50/7			50/7	214
39.22					
40.15	50/6			50/6	250
40.21					
41.15	39	11/2		50/12	125
41.27					
42.15	32	18/3		50/13	115
42.28					
43.15	33	17/5		50/15	100
43.30					

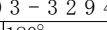
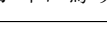
ボーリング柱状図

調査名 道の駅グランテラス筑西拡張整備基本・実施設計等業務委託

ボーリングNo	5																			
---------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo 5

ボーリング名	B o r . 5			調査位置		茨城県筑西市川澄地内						北緯	36° 19' 21.77"					
発注機関	筑西市					調査期間		令和 6年 3月 11日 ～ 6年 3月 19日				東経	139° 59' 33.13"					
調査業者名	株式会社 三橋設計 電話 ( 03-3294-0851 )			主任技師		小田嶋亮		現代場人		柿島一敏		コ鑑ア者		江川秀男		ボーリング責任者	古川三千雄	
孔口標高	TP +34.43m	角 	方 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤 勾配 	使用 機種	試錐機					カノー D0		ハンマー 落下用具		自動落下 (野帳記録)			
総掘進長	15.41m					エンジン					ヤンマー NFD9		ポンプ		カノー BG4			

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状 図	土質 区分	色調	相対 密度	相対 稠度	記 事	孔内 水位 (m) ／測定 月日	標準貫入試験										原位試験			試料採取 方法	室内試験 (月日)	掘進 日
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 ／貫入量 (cm)	N 値							深 度 (m)	試験名 および結果	深 度 (m)	試料 番号		
1	33.53	0.90	0.90		表土	黒褐			GL-0. 2mまで耕作土。 以深はφ2～50mmの礫を点在する粘性土。最大でφ200mmの玉石混入。	3/13 0.50	1.15	14	12	12	38 30	38										
2					玉石混じり砂礫	暗黄褐 暗灰	中位 非常に密な		φ2～50mmの円礫、亜円礫を主体とし、礫間は細砂、中砂が充填する。最大でφ200mm程度の玉石を混入する。所々に層厚10～15cmの砂層を挟む。所々で削孔水が10～50%程度逸水する。水気は中位～多い。	3/13 0.50	1.45	6	4	3	13 30	13										
3										3/13 0.50	2.15	11	11	10	32 30	32										
4										3/13 0.50	3.15	10	9	7	26 30	26										
5										3/13 0.50	4.15	30	20 8		50 18	83										
6	28.23	5.30	6.20							3/13 0.50	5.15	6	3	2	11 30	11										
7					シルト混じり砂	暗褐灰	緩い		細砂及び中砂を主体とし、粗砂も混入する。粒径は不均一。所々に層厚5～20mmのシルトの薄層を挟む。8.20m付近に軽石の薄層を挟む。水気は中位。	3/13 0.50	6.15	3	1	2	6 30	6										
8										3/13 0.50	7.15	3	3	3	9 30	9										
9	25.63	2.60	8.80		粘土質シルト	暗青灰	中位		不均質な粘性土からなる。粘り気は中位～強い。不均質にごく少量の細砂を混入する。	3/13 0.50	8.15	1	2	2	5 30	5										
10	24.73	0.90	9.70							3/13 0.50	9.15	25	25 8		50 18	83										
11					砂礫	暗青灰 青灰	中ぐらい 非常に密な		φ5～30mmの亜円礫を主体とし、礫間は細砂～中砂が充填する。最大礫径はφ70mm程度。GL-10.9～11.30m、GL-12.0～12.20mは暗灰色の細砂を挟む。	3/13 0.50	10.15	5	8	19	32 30	32										
12										3/13 0.50	11.15	4	6	9	19 30	19										
13										3/13 0.50	12.15	20	18	12 5	50 25	60										
14										3/13 0.50	13.15	26	24 9		50 19	79										
15	19.02	5.71	15.41							3/13 0.50	14.15	11	25	14 6	50 26	58										
										3/13 0.50	15.15															
										3/13 0.50	15.41															



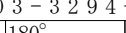
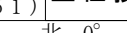
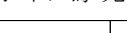
## ボーリング柱状図

調 査 名 道の駅グランテラス筑西拡張整備基本・実施設計等業務委託

ボーリングNo	6								
---------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シート No 6

ボーリング名	Bor. 6			調査位置		茨城県筑西市川澄地内					北緯		36° 19' 21.83"						
発注機関	筑西市					調査期間		令和 6 年 3 月 22 日 ~ 6 年 3 月 28 日				東経		139° 59' 32.08"					
調査業者名	株式会社 三橋設計 電話 (03-3294-0851)			主任技師		小田嶋亮		現場代理人		柿島一敏		コ ー 鑑 定 者		江川秀男		ボーリング 責 任 者		平井拓	
孔口標高	TP +34.44m	角 	方 向		地盤 勾 配		使用 機種	試錐機				カノー D0		ハンマー 落下用具		自動落下 (野帳記録)			
総掘進長	15.45m							エンジン				ヤンマー NFD9				ポンプ		カノー BG4	

[illegible]